

本年度の学校評価（令和7年度）

本年度 の 重点目 標	令和7年度重点目標 (1) 社会的および職業的自立を目指し、礼節を重んじ、豊かな心を育むとともに、学びと自己の将来との関連性を見据え、積極的に進路の実現を図るキャリア教育に取り組む。 (2) 学年や教科間の連携をさらに強化し、学習習慣の確立と確かな学力の定着を目指す。 (3) 総合的な探究の時間や各教科における探究活動の展開と、一人一台タブレット等のICT機器の効果的な活用をととして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の充実を図る。 (4) 「問い」を意識した授業づくりに取り組み、生徒が自ら考え、理解を深める学びを促す。 (5) 生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、部活動などをととして心身を鍛え、主体的に取り組む姿勢を育成する。 (6) 生徒の健康管理に努め、保健教育や安全教育を積極的に推進することにより、生徒の心身の成長を促すとともに、防災対策や防災教育を継続的に進め、安心・安全の確保を図る。 (7) 地域社会との関わりをととして、人としての在り方や生き方を育む教育を推進する。 (8) 多忙化解消に努めつつ、教育効果を高めることを基盤とした行事や洗練された業務を推進する。 (9) 教職員間で働き方改革の必要性を共有し、現状を分析したうえで改善策のアイデアを出し合い、具体的な取組をととして業務改善を進める		
項目	重点目標	具体的方策	注意事項
学習指導 (教務部)	学習習慣の確立に向けた指導と評価の一体化への取組	- 適切な指導と学習評価の連動 - 学習習慣の確立に向けた適切な観点別評価の方法の確立	- 学習習慣の確立に向け、効果的な指導と評価の示し方、評価の活用について研究する。 3観点の在り方に基づき、適切な観点別評価の基準や方法を研究する。 - 教員間で情報を共有し、組織的な指導体制や評価体系を整える。
生徒指導 (生徒指導部)	健康・安全に留意した学校生活 礼節を重んじた品位と規律ある基本的生活習慣の確立	- 交通安全指導の充実 - 身だしなみ指導の充実 - 健やかな心身と生徒・保護者の安心・安全へと繋がる指導の充実	- 交通安全講話等による啓発や、通学路上で特に危険と思われる場所での定期的な立ち番指導を実施し、交通マナーやルールを順守し、命を守る指導を行う。 - 身だしなみ指導を計画的に実施し、生徒が落ち着いて学校生活を過ごすことができるように努める。 - 日常観察を通じて、健やかな心身の育成に努める。
進路指導 (進路指導部)	望ましい進路実現	- 今後の学びと将来の自分を見据えたキャリア教育の充実 - 進路指導に関する、多角的な進路情報の提供とその活用の促進 - ひとり一人に合った進路実現のための面談の充実	- 進学的・職業的観点に焦点を置き、進学等を見据えた講話や職業関連講座、大学等の模擬授業や現地見学などの計画・実施をしていく。 - 印刷物・講座・ウェブ等を利用して進路に関する情報を提供し、かつそれらの利用を促す機会をLTや学年集会などで設ける。「道標」を活用し情報提供を行う。 - ひとり一人の生徒に応じた学習計画や進路希望について適切な面談を行う。
保健指導 (保健部)	心身ともに健全な発達を図るとともに、美化意識を向上させる	- 心身の健康状態の把握とすみやかな対応 - 清掃活動を充実させ、実践能力を身に付けさせる。	- 心身の健康状態の把握については、校内外との連携を進め、保護者との情報交換も積極的に行い、組織的に対応する。また、すみやかに情報を共有する。 - 日頃の清掃活動を通して、公共の美化につながる精神を涵養

		・いじめ把握のためにも心のアンケートを年3回実施	し、また集団の中で自ら率先して行動する自主性を育てる。 ・相談係を中心にスクールカウンセラー等とも連携して、情報共有を密にし、組織的にケース対応できるようにする。	
図書指導 (図書情報部)	・図書館データベースの作成の進行と古い図書の廃棄 ・ICT 利用スキルの向上	・図書館データベースの作成 ・生徒の実情に合わせた廃棄本の選定・廃棄 ・タブレットを活用した教育活動の充実。	・毎日少しずつ作業を進める。 ・バーコード貸し出しに向けて実施方法を具体的に検討する。 ・貸し出し状況を精査し、廃棄書籍の選定を行う。	
特別活動 (特別活動部)	・教科外活動の充実	・学校行事の充実 ・部活動の充実 ・ボランティア活動の充実	・学校行事全般において、生徒主体で考え、実施していけるよう支援する。 ・生徒の実態に即した、部活動のよりよい在り方を考える。 ・地域のボランティア活動を中心に、情報提供を積極的に行う。	
報発信 (総務部) (図書情報部)	保護者・地域との連携強化	・PTA 通信による情報発信の充実 ・ホームページの更新	・PTA 通信を通して、PTA,生徒の活動の様子を発信する。	
学年経営	1年	・学習指導の充実 ・生活指導の充実 ・探求活動に向けた指導の充実	・基本的学習習慣の確立 ・基本的生活習慣の確立 ・適切な情報を収集してまとめる力の育成	・授業を大切にする意識を作り、課題や学習会を通して家庭学習の習慣を確立させる。 ・遅刻防止等の指導を適宜行い、社会生活の中で必要な基本的生活習慣の確立に努める。 ・タブレット等を有効活用し、効果的な情報収集を行えるようにする。
	2年	・学習指導の充実 ・生活指導の充実 ・キャリア教育の充実	・主体的な学習姿勢の育成 ・基本的生活習慣の維持 ・タブレット等を活用したキャリア教育の充実	・各教科と連携して課題を提出させる。 ・安易な欠席や不注意による遅刻に対して、丁寧に指導をしていく。 ・タブレット等を活用して、将来について具体的に考えさせる。
	3年	・進路指導の充実 ・学習指導の充実	・早期に受験の仕組みを理解させ、生徒一人ひとりに適した進路を実現させる ・進路実現に向けた学習活動の支援	・生徒に適切な面接や進路指導を実施する。 ・生徒自ら進路について調べ、主体的に学習に取り組めるよう指導する。
関係者評価を実施する主な評価項目	学校関係者評価 (1) 進路実現に向けて、進路講話や「なるには講座」等の進路行事に取り組み、学びと自己の将来とのつながりを関連付けたキャリア教育の充実を図ることができたか。 (2) タブレットやBYOD等の I C T機器も活用しつつ、授業改善に努め、個に応じたきめ細かな学習指導を行うことができたか。 (3) 総合的な探究の時間等において探究活動を展開し、主体的な学びを促すことができたか。 (3) 体育祭や文化祭、クラスマッチ等の学校行事をとおして、他者と協働しながら課題の解決を図ったり、目標達成を目指したりすることにより、充実感を得ることができたか。 (4) 教育効果の向上を図りながら、教職員の心身の健康に留意した多忙化解消に向けた業務の見直しを進めることができたか。			